

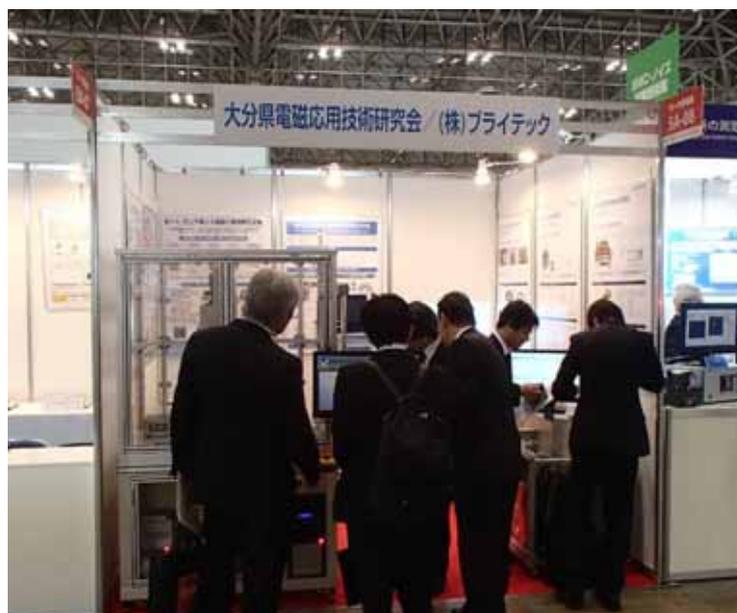
展 示 会 出 展 報 告 書

事務局長 池田 哲

- 【名 称】 TECHNO-FRONTIER 2018 (第36回モータ技術展)
【会 期】 平成30年4月18日(水)～平成30年4月20日(金)
【会 場】 幕張メッセ(千葉県美浜区中瀬2-1)
【内 容】

日本能率協会主催「TECHNO-FRONTIER 2018(第36回モータ技術展)」で電磁応用技術研究会の展示ブース(出展番号5A-08)を設置し、当会の取り組みや(株)プライテックの磁気測定機器を紹介した。TECHNO-FRONTIER 2018への会場来場者は、3日間で29,072人であった。

- 当研究会は、大分県産業科学技術センターパンフレットと電磁力応用技術センター資料、先端技術イノベーションラボ(Ds-Labo)資料を配布した。
- 共同出展のプライテック社は、ベクトル磁気特性可視化装置、応力負荷型単板磁気試験器、2次元単板磁気試験器の3装置をデモ展示した。
- 3日間で110名以上のブース来場者があった。
- 国内外のモータ技術関連企業と、磁気特性測定技術を中心とした情報交換を行うことができた。また、電磁応用技術研究会や大分県産業科学技術センターの活動や技術シーズを、広くPRすることができた。
- プライテック社には、今後の商談につながる案件が十数件あった。
- 昨年度出展の際、「電磁応用技術研究会」では大分県の関係団体か分かりにくく、またブース検索も困難、との来場者の声があったため、今年度は「大分県電磁応用技術研究会」と表記した。



会期中の電磁応用技術研究会ブースの様子

出展概要：

TECHNO-FRONTIER 2018 (第36回モータ技術展)

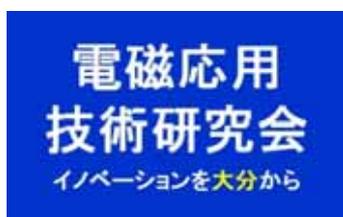
2018年4月18日(水) ~ 20日(金)10:00 ~ 17:00 (幕張メッセ)



モータ技術展2018 電磁応用技術研究会 紹介ページ：

<https://jmacv.herokuapp.com/tf2018/webguide/detail?exhibitorid=80132>

電磁応用技術研究会ロゴ：



出展者名：

大分県電磁応用技術研究会 / ブライテック

ブース番号：

5A-08 (第36回モータ技術展)

見どころ情報：

電磁応用技術研究会(大分県)は、磁性材料の磁気特性測定から実機評価まで、電気機器の研究開発を技術支援します。当研究会は大分県産業科学技術センター内に設立され、電磁鋼板の単板磁気試験器、モータ実機の鉄損評価装置、永久磁石の磁気特性評価装置などを開発するとともに、B-Hアナライザ、X線残留応力測定装置、磁界解析ソフトウェアなどを設置しています。会場では、(株)ブライテックと共同開発した「ベクトル磁気特性可視化装置(第6回ものづくり日本大賞九州経済産業局長賞受賞)」の実機を展示し、世界最小ベクトル磁気センサが拓く、モータ駆動時の固定子内鉄損分布測定による新しいモータ評価方法を提案します。また、大分県産業科学技術センターが(株)ブライテックに技術移転した、モータ製作時に考慮すべき電磁鋼板にかかる応力を想定した応力負荷型単板磁気試験器(±100MPaまで)などの磁気特性測定装置を紹介します。

出展製品：

磁気特性測定装置

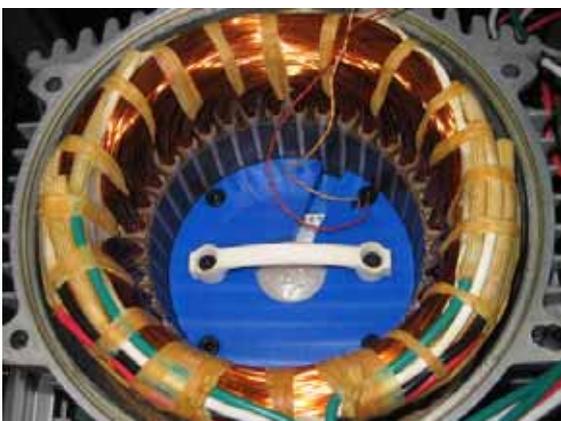
(応力負荷型単板試験器、二次元単板試験器、二次元磁気特性可視化装置)



ベクトル磁気特性可視化装置



応力負荷型単板磁気試験器

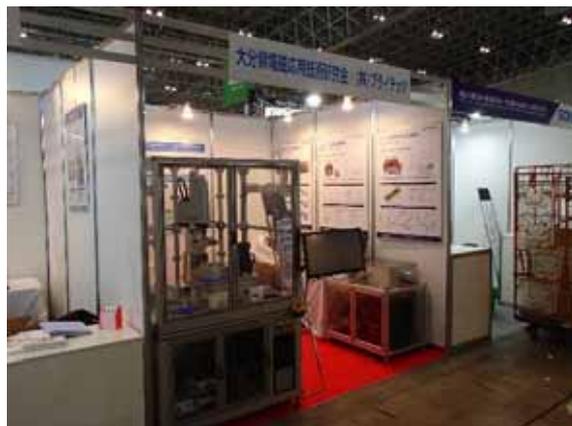


2次元単板磁気試験器

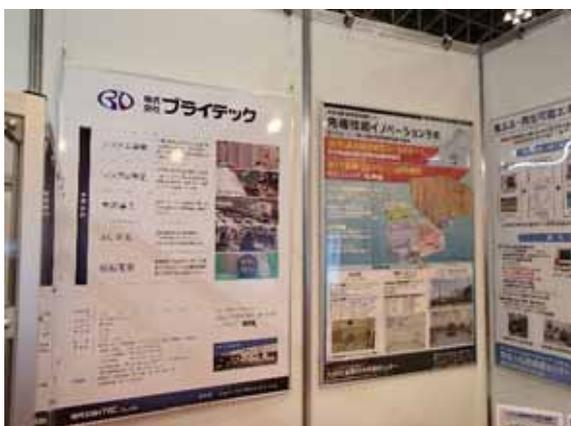
展示会の様子：



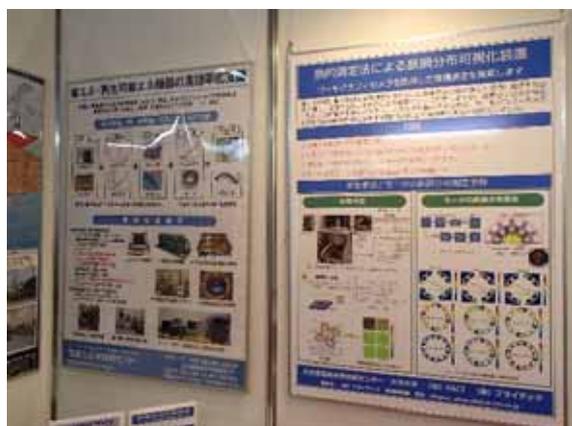
テクノフロンティア会場（幕張メッセ）



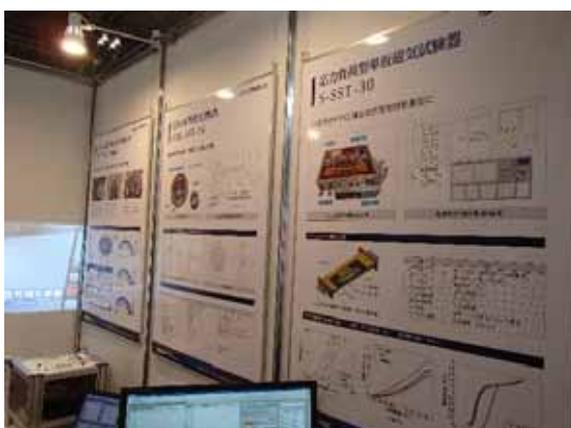
研究会ブース（5A-08）



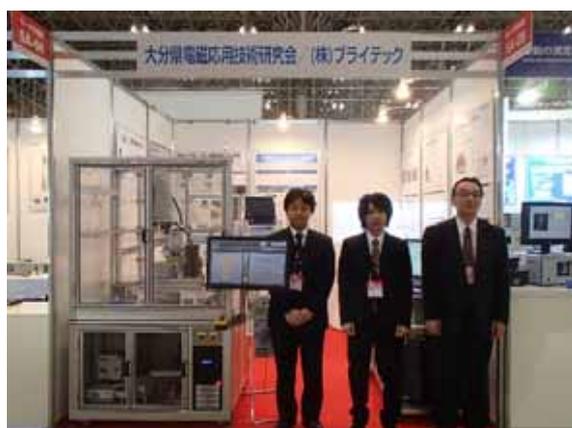
展示パネル（1）



展示パネル（2）



展示パネル（3）



共同出展者（ブライテック）の皆様

問い合わせ先：

電磁応用技術研究会（担当 池田、沓掛）、電話 097-596-7101、www.oita-mag.jp
（株）ブライテック（担当 相原）、電話 097-558-1125、www.btec-net.co.jp

以上